

サポート詐欺による公用パソコンの遠隔操作被害について

この度、公立大学法人奈良県立医科大学の公用パソコン1台が、いわゆる「サポート詐欺」による遠隔操作を受け、修理等の費用を要求される事案が発生しました。また遠隔操作中は当該職員の使用するパソコンに保存されていた個人情報を含むデータが閲覧可能な状態であったことが判明しました。

このような事態を招いたことを深くお詫びいたしますとともに、再発防止に努めてまいります。

【概要】

1 経緯

令和6年2月3日10時35分頃に、職員がパソコンでホームページを閲覧中に「スパイウェアに感染したため電話をして下さい」と偽警告メッセージがパソコンの画面に表示されたので、指示どおり電話をかけた。その際、遠隔操作アプリのダウンロード等の指示があり、操作をした結果、遠隔操作がはじまり、セキュリティ上の不具合があると指摘されて、修理代3万円およびセキュリティ対策ソフト5万円などの金銭要求があった。不審に思い電話を切るとともに、直ちにLANケーブルを抜き、遠隔操作を停止させた。

2 漏えいのおそれがある個人情報

相手方がパソコンの遠隔操作ができる時間中（2月3日10:39～11:00）は、次の個人情報を含むデータが閲覧できる状態であった。なお遠隔操作されていた画面上では、データのダウンロードや、閲覧する操作は確認出来なかった。

- ・当該職員関係者の「氏名・住所」 30名分
- ・当該職員所属課の人事関係データ
「氏名・生年月日・職員番号」（パスワード設定済）40名分

3 調査結果

- ①電子カルテなどの医療情報システムや学内システム等への不正なアクセスはない。
- ②現時点で、データの内容等が悪用された事実は認められない。
- ③当該職員のパソコンをウイルス対策ソフトでフルスキャンを実施し、異常が無いことを確認するとともに、システムに使用するパスワードの変更を行った。
- ④学内の他のパソコンについても、ウイルスに感染していないことを確認した。

○ 今後の対策

再発防止のため、個人情報保護や情報セキュリティの確保に関する教育研修を強化し、職員の意識向上を図る。

公立大学法人奈良県立医科大学
情報推進室
電話：0744-22-3051（代表）